



地区職業奉仕委員会

委員長 村木 茂

(新大阪RC)

10月は、職業奉仕月間です。皆様方のクラブで職業奉仕について多めに議論し、そして、実践していただきたく思います。

職業、仕事というそれ自体、本質的に、社会に奉仕するというものであります。社会にとり、無益、有害なものは職業として成り立ちません。従いまして、個々のロータリアンは自らの職業に対し、まずは自信を持っていただかねばなりません。でもそれだけでは不十分です。昨今、コンプライアンスつまり法令遵守ということが言われておりますが、ロータリアンの行動基準は、単なる法令ではなく、もっと高いところにある職業倫理、商業道德であります。「職業を通じて社会に奉仕する」だけでは、ダメなのです。「職業の道德的水準を高めて社会に奉仕する」ことが必要です。現在、企業、あるいは職業人の不祥事が多発しております。ロータリークラブが設立された当時のシカゴの状況に近づいております。

今こそ職業奉仕の意義の再確認が必要です。「職業の道德水準を高める。」「職業倫理」「商業道德」等の理解の仕方、表現の仕方は人により様々です。

どうか、この点について皆様方のクラブにおいて多めに議論していただき、そして、議論を通じて、

これこそが社会によって、又、我々の職業にとって最も有益であること、そして、我々ロータリアンに誇りと心の安らぎを提供してくれるものであることを再確認していただきたいと思っております。

地区委員会はここ数年来、各クラブに対し、「出前授業」の実践をお願いしております。多彩な職業人の集まりである我々が、直接小学校に出向き、「出前授業」を通じて、子供達に対して、世の中には様々な職業があること、そのどれもが、素晴らしく、有益なものであることを理解させるとともに、職業を通じて社会に奉仕することの意義等をお話していただくことによって、将来のロータリアンを育てていきたいと考えております。どうぞ宜しくお願いします。

又、地区委員会は、皆様方全員に職業に関する小冊子2冊を配布する予定であります。御参考にしていただけたらと思っております。